

## 社会福祉法人経営実務検定試験出題範囲表 (財務管理)

(令和3年9月23日制定)  
(令和4年2月21日改定)  
(令和6年12月21日改定)

想定レベル

社会福祉法人を運営していくうえで、理事などの役員、統括会計責任者、施設長、事務長等の幹部職員並びに次世代経営者が理解しておくべき内容

大項目	中項目	小項目
I 中長期計画の作成	1. 施設整備計画	①減価償却（建物の価値の減少の理解）②施設整備と会計処理（基本金、国庫補助金の概要）③施設の建替に必要な資金の確保
	2. 事業計画	①計画の種類、期間 ②中長期の目標と短期資金計画から計画を作成
II 損益分岐点分析と意思決定	1. 分析の概要	①損益分岐点の考え方の理解 ②損益分岐点と損益分岐点比率 ③経営改善と事業計画への適用
	2. 意思決定の基本	①意思決定に関する原価概念の理解と日常業務への応用 ②有用な原価と現在価値
III 財務分析	1. 財務分析の種類	・社会福祉法人に必要な分析（法人・事業）
	2. 機能性分析	・利用率など、財務数値以外の分析の理解
	3. 分析数値の計算	・主要な指標を計算し、他者比較、経年比較による現状把握
IV 社会福祉充実計画	1. 制度の概要	・社会福祉法55条の2の規定と通知の理解
	2. 計画の策定・承認	・充実計画の策定・承認手続の理解
	3. 充実残額の計算	・充実残額算定方式の理解(計算例含む)